



# 越谷南ロータリークラブ会報

会長 染谷 宗一 幹事 荒井 信宏 会長エレクト 中島 頼光

RI会長テーマ『ロータリーに輝きを』

地区テーマ 『ロータリーはひとつづくりそして奉仕』

クラブ会長テーマ『ロータリーでああなたの素晴らしい魅力を出そう』



平成26年9月18日 第1974回例会

## 【点鐘】

【ロータリーソング斉唱】(我等の生業)

## 【ゲストビジター紹介】

- ・財団奨学生 寺戸 佑希 様
- ・米山奨学生 徐 曉潔 様

## 【会長挨拶】 染谷 宗一 会長

皆様、今月は新世代月間と言うことですが、すでに次年度、新世代関係事業の打ち合わせ等で活動始まっております。私達のクラブでは、越谷南高校のインターアクト部をスポンサーしていますが、本日も交換留学生・派遣留学生等の件で、顧問先生との打ち合わせを行います。そして早速韓国への派遣学生募集始まり、そして来年1月に韓国来日学生受け入れに向けて準備しなければいけません。また、青少年交換学生に浅水円花さんと廣瀬航希くんの正式な合格通知のご案内が頂きました。よって次年度、青少年交換は2名の送り出しがありますので、それに伴い受入学生も2名が来日しホストしなければなりません。この様に新世代事業は目白押しですが、事業成功には、会員皆様のご協力がなによりも重要だと思っておりますので、宜しくお願い致します。



本日は、例会のメイン行事が財団奨学生の寺戸佑希さんの卓話ということで、大変楽しみにしています。宜しくお願い致します。

最後に、ご報告ですが、先日、越谷東ロータリー 守谷会長・役員の皆様と越谷東・南ロータリークラブ合同例会の件で、委員会を開催し取り急ぎ開催日が決定しました。開催日は10月30日で詳細は随時決定次第、ご報告させていただきます。

## 【幹事報告】 荒井 信宏 幹事

・地区の青少年奉仕部門から案内が来ています。

1. 帰国学生報告会の案内
2. 2015～2014年度 青少年派遣候補生正式



合格のお知らせ及び派遣学生スポンサークラブ説明会のご案内

3. 高校生海外研修派遣団員の募集について
4. インターアクト東日本復興支援募金活動について  
(※以上、青少年委員会に付託させていただきます)

- ・地区の社会奉仕部門から広島土砂災害義援金の御礼が来ています。
- ・地区よりロータリー財団メジャードナー食事会の案内が来ております。
- ・越谷市暴力排除推進協議会より『第20回越谷市地域安全推進大会』の案内が来ております。
- ・RI第2770地区ポリオ撲滅チャリティゴルフ大会の案内が来ております。(※6名の参加を検討しています)

※詳細等、その他不明な点がございましたら、幹事までお願い致します。

## 【委員会報告】

### ・社会奉仕委員会 中村委員長

例会終了後、委員会を開催します。また、10月26日の市民まつりは例会変更です、多くの出席宜しくお願い致します。

### ・仁多見委員

11月25日、久喜市文化会館に於きまして東日本大震災チャリティコンサートを開催致します。当日は豊山太鼓千響も出演しますので、是非、見に来て下さい。ですが、私はいません。(※詳細は仁多見まで)

### ・職業奉仕委員会 野呂田委員長

10月17日(金) 13:30よりラフォーレ清水園に於きまして職業奉仕月間セミナーが開催致します。詳細は後日FAXにてご案内致します。会費はクラブで負担致します。

## 【地区役員補助金贈呈】

- |              |      |
|--------------|------|
| 第8グループガバナー補佐 | 浅水尚伸 |
| 諮問委員会        | 吉田豊治 |
| 青少年奉仕部門委員長   | 池田玄一 |
| RYLA委員長      | 大熊 進 |
| 米山奨学学友委員会    | 小林光蔵 |



## 【卓話】財団奨学生 寺戸 佑希

(関西学院大学 総合政策学部 都市政策学科4年生)

今回の卓話は第1回財団奨学生オリエンテーションでプレゼンしました内容を皆様に披露させていただきます。

まず所属する関西学院大学ですが、本校は神戸ですが私は、三田市にあります三田キャンパスで建築学を学んでいます。

私が選考している建築という分野には、建築設計・都市計画・ランドスケープ、建築工学、建築構造学がありますが留学し大学院で学びたい分野は建築意匠設計です。建築意匠設計は、建築分野の中で一番社会に影響を与える力を持っていて、また自分の考えや感じている事を社会に伝えることができ、作り出すことに加えて社会的意義を持つことができる仕事だと私自身思っています。

例えば建築家ダニエル・リベンスキンド氏が設計したユダヤ博物館です

が、ユダヤ教が迫害にあつて社会から孤立しているといった感情、悲しさ、孤独感などが建物に込められ、設計の中で、点と線をコントロールし感情を空間表現

し社会へ訴えかけています。実際、目にすると、ユダヤ人が感じた孤独感、迫害という悲しい過去を感じる空間となっていました。

また、スリランカの建築家、ジェフリーバウアー氏が手掛けたホテルのタイトルは『環境に溶け込む』を目指し、実際、既存にある岩場や緑を壊さず周囲に溶け込む様な建物を建てています。自然を破壊しないといったことを社会に訴えている様です。

私自身も今年の5月に建築学生団体の展示会があり『アトリエのある住宅』を課題に模型を出展しました。まず住宅のコンセプトはフランス人、ジャック・イクイスト氏をモデルに設計しました。氏はスキューバダイビングの呼吸器を発明した方でまた海洋学者でダイビングの第一人者です。設計には氏のイメージ、ライフスタイルを表現し建物には波をイ



メージしたウェーブを取り入れ、彼のライフスタイル、ダイビングや海洋研究が敏速できるようにし、氏の原点である幼少

期過ごした海岸沿いをイメージの再現も取り込みました。この様に意匠設計は建物を取り巻く人々をも表現できる素晴らしいもので、この分野に私自身も夢中になり、更に海外で勉強したいという気運が高まりました。

希望する大学は、第一希望は、Architectural Association School of Architecture で卒業生にザハハド氏が在りまして、2020年東京オリンピックの国立競技場を設計する予定です。設計予算は1500万円ですが、氏の提示額は3000万円と、どのようにすり合わせて行くか注目しています。

また希望としてスコットランドのThe Glasgow School of Art、またインドのCentre for Environmental Planning and Technologyです。インドの大学ですが建築界の三大巨匠の一人、今は亡きユレビジエ氏から学んだ教授がいるということで、その教授から学べばということに希望しています。

まずはとにかく留学を通して、異文化で建築を学びたいと切に思います。ことなる文化、宗教、習慣、常識、食べ物、服装などの環境違いが、様々な新たな気づきがあり、建築を学ぶ中で生涯大きく影響を受けることと思います。また『人間が生きるといことが、どうゆうことなのか』建築の根本的な問題も留学を通して考え、また、世界に通用するスキルを身に付け日本でだけでなく世界で活躍したいと思っています。本日はありがとうございました。

## 顧問ロータリーアン挨拶 (紹介) 吉田 豊治

財団奨学候補生の寺戸さんは地元、川柳町がご実家で、学校は関西学院大学4年生で総合政策学部 都市政策学科を専攻し建築家を目指しております。第1回財団奨学生オリエンテーションでプレゼンを拝聴させて頂いた時は、とにかく建築学に熱い方だと思いました。世界の有名な建築に造詣が深く、また第2回のオリエンテーションでは英語でのプレゼンを行う予定で、英語力も抜群です。今後は世界の皆様の生活を、建築を通じて豊かにする為に財団奨学生になる事を希望とし、海外で多くのスキルを身に付け建築家として世界で活躍したいと、本当に志が高く素晴らしい方ですので、どうか宜しくお願い致します。



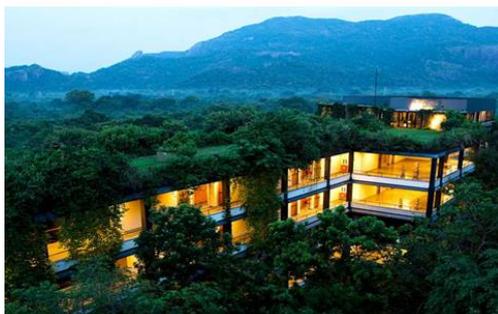
House on a cliff



Daniel Libeskind: Jewish Museum Berlin



Zaha Hadid: 国立競技場



Geoffrey Bawa: Kandalama

【R.I.D2770 フィリピン国際奉仕PJ視察・体験ツアー報告】

第2770地区第8グループガバナー補佐 浅水 尚伸

9月13日～16日、フィリピンD3880地区（マニラ）に於きまして国際奉仕PJ視察・体験ツアーに参加してきました。



このツアーの目的は小学校のトイレ修繕・飲料水供給・辞書の寄贈などの各提供が適正であるかの検証・視察と、ストリートチルドレンの受入施設『VOICE OF DREAM』（孤児院）への視察・孤児との交流・支援品贈呈を目的とします。このツアーは田中パストが熱心で、10数年続いている有意義で人気のある事業で、今回も渡邊ガバナーをはじめ、64名と大勢の参加がありました。

初日は、D3880地区主催のウェルカムパーティーからスタートし、会場はD3880地区ガバナー、ローデス・マルロウ氏のご自宅で開催され、宝石商だけあって高台の大邸宅・プール・大パーティールームでしたが、その会場までの道中は劣悪な衛生状態と貧困のバラック小屋が沢山立ち並ぶ光景を目にし、貧富の差を目のあたりにしました。

2日目は、極東裁判で日本人が処刑された場所でもありません、モンテンルパへ。そこには『VOICE OF DREAM』という小中学校、高校の孤児及び貧困ゆえに起こる虐待された子供を収容する施設があります。設立者はイギリスの方で日本女性のボランティアもいて、他国より人を助ける精神に感動しました。子供達には、バスタオルを寄贈しましたが、孤児・虐待は無縁とも思えるほど明るく元気で前向きで、この施設の教育・カウンセリングプログラムが上手くいっていると確信し、後にしました。

3日目は、越谷東ロータリークラブの守屋さん・阿部さんに同行させて頂き、辞書を寄贈する予定の小学校へ視察・検証を行いました。私は初め、なぜ辞書を寄贈する意味が解らなかったのですが、タガログ語能力では表現できない科目が多数ある為、英語教育中心で、英語しかできない子供が多く、タガログ語しかできない人とはコミュニケーションが取れないといった問題とまた図書館にも辞書が数冊しかありません、そこでタガログ・英語の辞書を寄贈する運びとなった様です。現地の先生は、日本は日本語ですべてを教育するという日本語の能力・文化に感銘を受けているようで、私自身、日本人がお金をかけて必至で英語を勉強することがどうなの？と思うところです。

最後にガイドさんより戦後、フィリピンの反日感情が払拭し親日になったのは、マニラの建築物（アメリカンバラックス）にアサノセメントが資材を無償で提供されてからと聞いた時、寄贈や寄付もその方の求めているもの・文化を考えて行わないと、ただの独りよがりで終わってしまうと気づき、これは、ロータリークラブでもいえることではないのかな？と思いました。

今回のツアーで沢山の気づきを得ることができ、また日本の素晴らしさを改めて思う旅でした。ありがとうございました。

【スマイル報告】社会奉仕委員会 水町 俊介

寺戸さん、ようこそ・・・斎藤、石田、岩淵、浅水、岡田、中村幸江、中内、石野、野呂田、佐藤太、仁多見、木村、石川、久木野

寺戸さん、卓話ありがとうございます・・・染谷、荒井、小林光蔵、中島、吉田、深井、中野、糸賀、石塚、赤松、飯泉、瀬尾、水町

寺戸さん、頑張ってください！・・・遠山、小林武弘、大谷  
9月13日（土）RLIに参加させて頂きました。改めて越谷南ロータリークラブの素晴らしさを実感致しました。ありがとうございます。・・・加藤  
やっと秋らしくなってきましたね！・・・小山  
ジャケットありがとうございます・・・中村直弘  
いつも笑顔で人にやさしくしていると体も元気になり、健康で生きられるそうです・・・清田  
深井さん、モニター最高です・・・田中誠

【出席報告】出席委員会 小山 栄一

例 会 日	平成26年9月18日		
会 員 数	55名	出席	37名
出席免除者	8名	欠席	17名
出 席 率	68.5%	前々回MU	3名
MU 修正率	68.9%		

【会場運営担当】会場運営委員会 仁多見 廣和

【編 集】 会報委員会 佐藤 太

\*\*\*\*\* クラブプロフィール \*\*\*\*\*

【姉 妹 ク ラ ブ】国際ロータリー第3460地区

台中南区扶輪社（中華民国台中市）

【例 会 日】毎週木曜日 12:30～13:30

【例会場・事務局】〒343-0842

越谷市蒲生旭町10-14 中野ビル2階

TEL 048-987-5761

FAX 048-987-5762

E-mail [info@koshigayasouth-rc.jp](mailto:info@koshigayasouth-rc.jp)